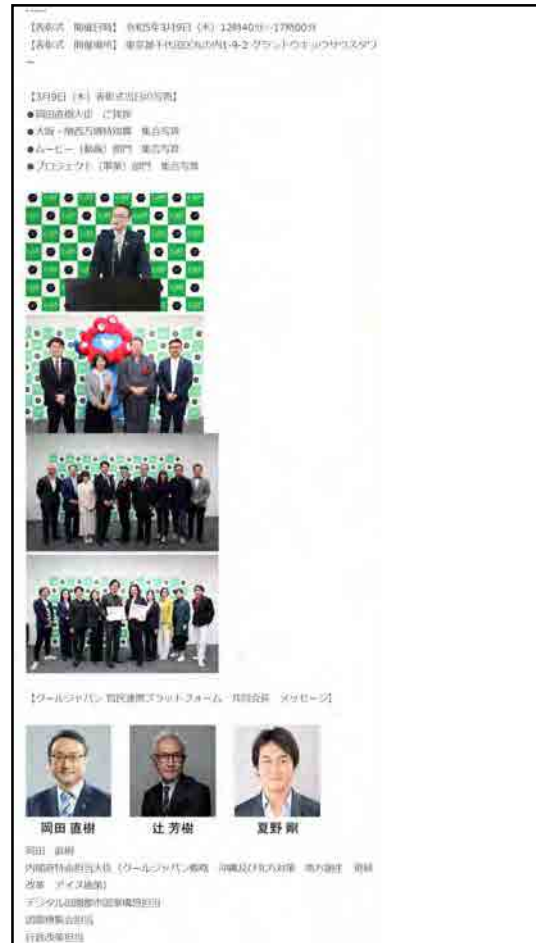


(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑥受賞者発表の広報 - 2、報道結果

- ◆ 3/9(木)17:00に配信したPRタイムズのプレスリリースの転載は、オリコンニュース、朝日新聞デジタルマガジン&[and]など、31件となった。



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑥受賞者発表の広報 - 2、報道結果

◆ PRタイムズのプレスリリースの転載先は以下の通り。

No	メディア	企業名	URL
1	RBBTODAY	株式会社イード	https://www.rbbtoday.com/release/prtimes2-today/20230310/839280.html
2	SEOTOOLS	ブラストホールディングス株式会社	http://www.seotools.jp/news/id_000000003.000109609.html
3	とれまがニュース	株式会社サイトスコープ	https://news.toremaga.com/release/others/2586377.html
4	CNET JAPAN(シーネットジャパン)	朝日インタラクティブ株式会社	https://japan.cnet.com/release/30836619/
5	ジョルダンニュース!	ジョルダン株式会社	https://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000003A000109609
6	ORICON NEWS(オリコンニュース)	オリコン株式会社	https://www.oricon.co.jp/pressrelease/1469340/
7	Techable(テッカブル)	株式会社PR TIMES	https://techable.jp/archives/000000003.000109609
8	All About NEWS	株式会社オールアバウト	https://news.allabout.co.jp/articles/p/000000003.000109609/
9	PRESIDENT Online(プレジデントオンライン)	株式会社プレジデント社	https://president.jp/ud/pressrelease/640a8540760b069b28000016
10	Fresh eye ニュース	株式会社スカラコミュニケーションズ	https://news.fresheye.com/prtimes/article/pr-000000003.000109609.html
11	ニコニコニュース	株式会社ドワンゴ	https://news.nicovideo.jp/watch/nw12238004
12	STRAIGHT PRESS(ストレートプレス)	株式会社PR TIMES	https://straightpress.jp/company_news/detail?pr=000000003.000109609
13	JBpress(ジェイビープレス)	株式会社日本ビジネスプレス	https://jbpress.ismedia.jp/ud/pressrelease/640a853b760b0680a2000016
14	東洋経済オンライン	株式会社東洋経済新報社	https://toyokeizai.net/ud/pressrelease/640a89f5760b06737c000052
15	@DIME(アットタイム)	株式会社小学館	https://dime.jp/company_news/detail/?pr=1384616
16	BIGLOBEニュース	ビッグロブ株式会社	https://news.biglobe.ne.jp/economy/0310/prt_230310_6664372165.html
17	産経ニュース	株式会社産業経済新聞社	https://www.sankei.com/pressrelease/prtimes/G5YVXQXZBFNLXHNK6QP7L2QNCM/
18	iza(イザ!)	株式会社産業経済新聞社	https://www.iza.ne.jp/pressrelease/prtimes/G5YVXQXZBFNLXHNK6QP7L2QNCM/
19	朝日新聞デジタルマガジン&[and]	株式会社朝日新聞社	https://www.asahi.com/and/pressrelease/423627483/
20	マピオンニュース	株式会社ONE COMPATH	https://www.mapion.co.jp/news/release/000000003.000109609/
21	現代ビジネス	株式会社講談社	https://gendai.media/ud/pressrelease/640a8a1d760b064a3900005f
22	Web担当者Forum	株式会社インプレス	https://webtan.impress.co.jp/r/prtimes/items/000000003.000109609
23	@niftyビジネス	ニフティ株式会社	https://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog prt000000003000109609_1.htm
24	時事ドットコム	株式会社時事通信社	https://www.jiji.com/jc/article?k=000000003.000109609&g=prt
25	ZDNet Japan	朝日インタラクティブ株式会社	https://japan.zdnet.com/release/30836619/
26	Infoseek ニュース(インフォシークニュース)	楽天グループ株式会社	https://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_000000003_000109609/
27	エキサイトニュース	エキサイト株式会社	https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2023-03-10-109609-3/
28	BEST TIMES(ベストタイムズ)	株式会社ベストセラーズ	https://www.kk-best-sellers.com/articles/-/press_release/1883310/
29	NewsCafe(ニュースカフェ)	株式会社イード	https://www.newscafe.ne.jp/release/prtimes2/20230310/1273986.html
30	ウレぴあ総研	ぴあ株式会社	https://ure.pia.co.jp/articles/-/1764671
31	BtoBプラットフォーム 業界チャンネル	株式会社インフォマート	https://b2b-ch.infomart.co.jp/news/detail.page?IMNEWS4=3864802

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

⑥受賞者発表の広報 - 2、報道結果

◆ 受賞者によるリリースは8件となった。

部門	受賞者 (一部、協力企業)	取組名・作品名	記事タイトル
プロジェクト部門	Avex Asia Pte. Ltd.	サウジアラビア アニメレレッジ プロジェクト	エイベックス、サウジアラビアでプロデュースした「アニメレレッジ」がクールジャパンの取組を表彰する「CJPFアワード2023」でグランプリを受賞
プロジェクト部門	株式会社アイビス	ibisPaint (アイビスペイント)	モバイルペイントアプリ「ibisPaint」、内閣府CJPFアワード2023にて優秀賞を受賞
プロジェクト部門	オンラインスナック横丁文化株式会社	オンラインスナック横丁	オンラインスナック横丁「内閣府 CJPFアワード2023」にて優秀賞受賞!
プロジェクト部門	日本忍者協議会	忍道プロジェクト	CJPFアワード2023「プロジェクト(事業)部門」にて、「忍道プロジェクト」が優秀賞を受賞
ムービー部門	Tokyo Creative株式会社	BONSAI AZUMA GOYOMATSU	日本人と外国人の「両目線」でインバウンド集客を支援するTokyo Creative企画・監修の福島市プロモーション動画、『クールジャパン・プラットフォームアワード2023』ムービー部門グランプリ受賞!
ムービー部門	三重県	Unforgettable Japan, Mie	三重県が制作した観光PR動画がクールジャパン・プラットフォームアワード2023ムービー部門で準グランプリを受賞しました
ムービー部門	大分県臼杵市	うすき美食道	臼杵観光PR動画(うすき美食道)がCJPFアワード2023で準グランプリを受賞!
ムービー部門	株式会社 タオ・エンターテインメント	Apex Legends x DRUM TAO 公式コラボPV	ApexとのコラボPVが『クールジャパン・プラットフォームアワード 2023』優秀賞を受賞しました!



(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

CJPF ライブ

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

①CJPFの活性化を目的とした官民共創プログラムの創出 —「CJPFライブ」

- ◆ 未来のクールジャパン戦略を、CJ関係者と共創して考える 収録型のイベント「CJPFライブ」を新設し運営を実施した。
- ◆ 「CJPFライブ」を通じて、国内のCJ関係者と外国人有識者が国境を超えて未来を共創できる場を設計した。

デジタル社会の進展に伴い、新しい視点でのコミュニティの重要性が増しています。令和4年度のCJPFの活性化を目的とした官民共創プログラムとして、新たな企画「CJPFライブ」を新設した。

「CJPFライブ」では共創型プラットフォームとしての役割強化を目的とし、国内外のCJ有識者同士がオンライン上で国内/ 海外の職人、地域から世界への魅力発信、ラグジュアリーツーリズム、CJPF AWARD 2023をテーマとしたライブ・ダイアログを実施し、今後のCJPFの共創力を高めるきっかけを創出した。

パネルディスカッションの様子を収録し、Youtubeにて配信



令和4年度は4つのテーマを予定 ※P51記載

CJPF会員

司会



収録撮影



テーマ毎にゲストを招待



- ・事例登壇者(ゲスト)
- ・専門家
- ・集客力がありアイコンとなるCJプロデューサー



調査サイト「cjpf.jp」への
新設ページとして設置し、
YouTubeでも配信。



テーマの事例にまつわる映像や写真画像を
準備します。生配信後は調査サイト
「cjpf.jp」からも視聴できるように配置。



アーカイブ

アーカイブ

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

①CJPFの活性化を目的とした官民共創プログラムの創出 —「CJPFライブ」全4回のテーマ

全4回に渡り、クールジャパン戦略において重要な「食・食文化」の可能性について、地域の共創事例を取り上げながら、事業者とともに取組み内容を深掘り、成功要因や、未来に向けた展望についてディスカッションを行いました。ライブは収録形式で実施し、編集後のデータをYoutubeで公開しました。

第1回：東京



2022年9月1日収録

国内/海外の職人

ブランド化・プロモーション

テーマ

海外・日本の職人の視点から発見する、「日本の食・食文化」と、未来の共創事業の可能性

第2回：広島



2022年11月10日収録

地域食材

仕組み・発信

テーマ

地域に根ざした食材・事業を通じた、地域の魅力発信 ～事業運営を通じて、日本の魅力の海外発信・仕組みづくり～

第3回：栃木



2022年12月10日収録

ラグジュアリー

ガストロノミー

テーマ

地域発のラグジュアリー観光を通じた魅力発信
～日本らしいラグジュアリーのあり方と、ガストロノミーツーリズムによる地域の魅力創出～

第4回：東京



2023年3月9日開催

日本の文化

情報編集・発信

テーマ

CJPF AWARDの審査員・受賞者と共に考える
クールジャパン施策の未来

(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査



②第1回CJPFライブ -1、企画概要

テーマ

国内/海外の職人

ブランド化・プロモーション

海外・日本の職人の視点から発見する、「日本の食・食文化の魅力」と、大阪万博、海外プロモーションに向けた共創の可能性。

日時
場所

2022年9月1日(木) 13-14時の開始 途中休憩10分 (仮 最大16時終了予定)
会場: JR東京駅、東京メトロ銀座線(株式会社リクルート 24階スタジオ)

概要

お酒、フルーツ、魚、肉、米、・・・天ぷら、寿司、お好み焼き、蕎麦など
日本には、魅力的な日本独自の「食材、料理、食文化」がたくさんあります。
そして日本人のみならず海外でも、日本の食・食文化を日本国内/海外で独自の目線で 第一線で活用、発信する活躍者がいます。
第1回目は「日本の食・食文化」を第一線で日本国内、海外に広める活動をしている“外国人・日本の職人”に焦点を当て、彼らの実際のプロジェクトストーリーを紐解きながら、日本の食・食文化の魅力の本質を探ります。
また、3年後の大阪万博や、また海外で開催される見本市に向け、日本の食・食文化を、職人の視点からどのようにプロモーション、ブランド化できるかをディスカッションし、事業共創化できる可能性を探ります。

◆プロローグ:
クールジャパンの食・食文化の目的・ゴールについて改めて理解を揃えます。(昨年度、辻さん動画を拝聴し、モデレーターから説明を実施。)

◆第一章:
日本・海外で日本の食・食文化を扱ったり、広めているゲストが現在取り組んでいることの紹介と共に、何故、彼らは日本の食材に魅了されたのか、「日本の食・食文化」の活動に携わってきた上で、苦労したこと、“料理や商品開発における発見”などを活動のエピソードを聞きながらインタビューします。

◆第二章:
2025年大阪万博/海外の食の見本市等 に向けて、ゲスト(造り手)皆の知恵を結集し、どんな日本食のグローバル展開、プロモーション、ブランド化ができるか、今後牽引者として期待したいゲストと共創できる日本の食・食文化のグローバル展開の具体アイデアを、職人目線からディスカッションします。

ゴール

これから日本が世界に向けて活動するためのヒント(新たな食の調理開発、プロモーション・ブランド化の方法、食をキーワードとした活動等)を得ると共に、ゲストと共に日本の食文化の魅力を海外に波及できる事業共創を見つけ、令和5年度の施策提言に繋げることを目標とします。

想定
視聴者

- ・自社の食材を、海外、外国人に向けてPRしたい事業者
- ・海外へ輸出をしたい事業者
- ・日本食に関する商社や投資会社等のマーケター

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②第1回CJPFライブ -2、登壇者

進行



モデレーター：
渡邊賢一氏



インタビュワー：
夏野剛氏

ゲスト

- ・日本の食・食文化を、外国に持っていき挑戦している職人
- ・日本の食・食文化を取り入れている外国人職人

ゲスト(海外)



ジャパンエクスペリエンス エクスペリエンスデザイナー
ダコスタ・レティシア氏

フランスパリ郊外出身。東京で、広告制作会社、アートキュレーション、翻訳・通訳の分野で勤めた後、2011年6月フランスに本社を持つ旅行代理店Japan Experienceに入社。プロダクト・マネージャとして従事中。



Sea Tech Trading 代表取締役 ニモ・グラスマン氏

アメリカ出身。フードテック、魚の輸出、水産業を通じた地域活性化を展開。米国IT企業(Google)の社食開発なども手掛ける。また、国内水産事業者や水産庁は3年間、連携を行いフィッシュ・ブランディング事業のプロデューサー等を担当。



Barillaマーケティング&TVシェフ アレッサンドロ・コビエッロ氏

イタリア出身。食品のマーケティングや輸出入の仕事を行う傍ら、シェフとしてテレビやYou Tubeで活躍。テレビ朝日:世界が驚いたニッポン!スゴ〜イデスネ!!視察団に料理研究者として出演。他、FOODEX日本、ELLE GOURMETなど国際展示会にも複数回出場。現在本業に加え八丈島の地域の食材を活かした日本×イタリアンの食のマリアージュメニューを多数開発。



鶴岡市観光協会 地域プロデューサー サラ・ミヨ氏

フランス・スクラン市出身。トゥールーズ大日本学科卒業後、早稲田大学留学。トゥールーズ大学院を経て、再来日。鶴岡市でインバウンド観光事業、外国語刊行物の編集・翻訳・監修などを担当後、2020年より(一社)DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー事業課係長として旅行商品の開発、観光情報提供などを行っている。

ゲスト(日本事業者)・CJプロデューサー



ONODERA GROUP エグゼクティブシェフ / 一般社団法人 J Vegan 協会理事 杉浦仁志氏

2009年に渡米。全米で約50店舗を展開するパティナ・レストラン・グループの創業者に師事、LA・NYのミシュラン星つきレストランで技術を習得。現在はONODERA GROUP エグゼクティブシェフとして、食を通じて異文化理解や健康、地球環境問題にアプローチするソーシャルフードガストロノミーを提唱し、さらに活躍の舞台を広げている。



CJプロデューサー てんぷら小野 代表 志村幸一郎氏

世界を舞台に‘心’のてんぷらを掲げる取り組みを料理人として活動する一方で山形県や北海道などに赴き生産者との繋がりを深めている。日本食文化への深い理解から、早稲田、国際基督教大学などでの講義やワールドクルーズ船の日本料理総監修担当など多彩な活動を行う。2016年には首相官邸より内閣府知的財産戦略推進事務局のクールジャパン・地域プロデューサーに任命。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②第1回CJPFライブ -3、構成台本、本番投影資料

◆ 構成台本を準備し、構成を事前に確認した上で、本番に臨むことでスムーズなライブ運営を実施。

構成台本

進行プログラム	立ち位置	話者	進行要領
13:40 オープニング			
■開会挨拶 ■司会挨拶 ■鼎の目的共有		渡邊様	<p>■司会者の皆様には指定の座席にご着席ください</p> <p>「お時間になりましたので、2022年CJPFライブを開催させていただきます。」</p> <p>「初めまして、私は本日ナビゲーターを務めます。渡邊賢一と申します。」</p> <p>(渡邊様 自己紹介)</p> <p>「このCJPFライブは、内閣府所管のクールジャパン戦略の一端として開催するもので、記念すべき第一回の本日は、海外・日本の職人の視点から発見する、「日本の食・食文化の魅力の可能性」と、大阪・関西万博、海外プロモーションにも向けた「未来の共創の可能性」について、個性豊かなパネリストの皆様と様々な議論を通じて、視聴者の皆様のご参考になるようなアイデアや、気づきを提供する場とできればと存じます。最後まで、ご覧いただければと存じます。」</p> <p>そして、本日、エグゼクティブパネリストとして</p> <p>●●●●(肩書き)夏野剛さんにお越しを頂いております。夏野さん、一言ご挨拶をいただけますでしょうか。」</p>
■夏野様挨拶		夏野様	(前編別紙)
■CJPFライブの紹介		渡邊様	<p>「夏野さん、ありがとうございました。それでは、本日のプログラムについてご紹介します。」</p> <p>第一節では、夏野さんと、パネリストとしてBarillaマーケティング & TVシェフのアレッサンドロ・コビエツロさん、山形県観光協会 地域プロデューサー サラ・ミヨさん、ONODERA GROUP エグゼクティブ 杉浦に志さんにご登壇いただき、外国人・日本の視点から見る、「日本の食・食文化の可能性」について、2022年現在、世界や日本で起きている食のクールジャパンの様子について紹介しながら議論をしていきます。</p> <p>第二節では、引き続き、夏野さんと、パネリストとして、Sea Tech Trading代表取締役のニモ・グラスマンさん、ジャパンエクスパリエンス エクスパリエンスデザイナー タコスタ・レティシア、てんぷら小野代表 志村幸一朗さんにご登壇いただき、ビジネスの視点から見る、「日本の食・食文化から始まる未来への共創」について議論をしていきたいと思います。」</p>

本番投影資料

自己紹介
CJPF LIVE

名前 COVIELLO ALESSANDRO
コヴィエロ アレッサンドロ

出身 イタリア

日本歴 7年

これまでの食・食文化の仕事

- ・イタリアのバスターメーカー Barilla Japan マーケティング
- ・料理研究家・TVシェフ・料理教師
- ・八丈島にカフェ・レストランオーナー
- ・ピザ職人 (Pizzalolo)
- ・イタリアのチーズ・生ハム・トリュフの日本への輸入

自身が考えるこれからの食・食文化の課題・テーマ

マスマクロダクションから“伝統とこだわり”に戻りつつあるトレンドを感じながら、どんどん地元の食材の魅力や特徴を宣伝し、農業や事業者を応援したいと思います。

取り組み
CJPF LIVE

(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

②第1回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ

◆ 項目ごとに課題点をあげ、次回以降のCJPFライブで対応すべき内容を振り返りサマリとして集約。

次回以降へのアクションサマリ

①事務局

- 本番実施時に足りない準備物を出さないために、**今回の準備物の履歴を残し**、2回目以降の準備に活用する。
- 当日イレギュラー作業、ゲストアテンドの追加要員などを想定し、**事務局サポートスタッフ人数に余裕を持たせて確保**する。

②会場

- 陪席用の席について、余裕をもった席数を用意する。

③ゲスト/進行

- ライブのWeb展開の際、自己紹介の文面を活用する前提で、ゲストと**当初合意していた時間内で各者説明が終えられるよう十分な練習時間や期間を設けるスケジュールを設定**する。
- Zoom参加接続が切れた際の、スムーズな復旧動線を事前に確認する。
- 第2回以降は**構成台本をより細かい粒度で作成し準備**をすることで、当日の議論運営をスムーズに実施する。

④機材

- 機材トラブルが起きたときの運用、**時間バッファ**を取っておき、なるべく収録の運用を検討する。
- 本番前に最終の機材チェックを行い問題がないかを確認する。

⑤収録/編集

- 動画が流れないなどのトラブルに備えて、**バックアップPCを用意**し切り替え対応に備える。

集合写真



会場雰囲気



ゲスト



(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査



③第2回CJPFライブ -1、企画概要

テーマ

地域食材

仕組み・発信

地域に根ざした食材・事業を通じた、地域の魅力発信
～事業運営を通じた、日本の魅力の海外発信・仕組み化～

日時
場所

2022年11月10日(木)収録
会場： 広島市内(TSSスタジオ)

概要

来年2023年の主要7カ国首脳会議(G7サミット)が開催される広島では、これまでの牡蠣、お好み焼き 等、単品の商品が知れ渡っているところから、広島県・知事がテーマとして掲げる、「元気・美味しい・暮らしやすい」という、地域全体の魅力の発信に力を入れておられます。日本のどの地域にとっても重要なテーマを掲げられる中で、次世代の地域の担い手と海外目線の有識者を交え、広島ならではの事例を発信することで、地域ごとの特色ある魅力づくりに寄与できるコンテンツや仕組みについてディスカッションし、事業共創化できる可能性を探ります。

◆第一部：(次世代の地域の担い手と海外目線で考える、広島の魅力と豊かな食・食文化)

ゲスト：今田氏、太田氏、ポール ウォルシュ氏

Uターンで広島で活躍されている、日本酒醸造家、ワイン醸造家、そして広島の魅力を知り尽くした海外メディア編集者をお招きして、新たな広島の食文化の魅力は何か？を掘り下げて参ります。

広島固有の「八反草」で醸す日本酒づくりの魅力や、地域に根ざした原料を使った酒造りを通して、視聴者の皆様に地域に眠っている魅力ある素材や食材に気づいていただくきっかけを語っていただき、また耕作放棄地を活用したワインづくりや、フードロスに配慮したレストラン経営等サステナブルな取り組みをご共有いただきつつ、地域がサステナブルでありつづけることの魅力について語っていただきます。

その地域ならではの魅力・取り組みを、海外目線、外国人目線でみた際の魅力について、実際の事例を交え地域の魅力を国内外に広く発信するための視点を語っていただきます。

◆第二部：(日本・海外目線で考える海外に向けた魅力発信と仕組み化)

ゲスト：白神氏、野中氏、アレックス・ピロット氏

広島のテレビプロダクションから、海外で評価される番組制作の他、外国人目線での海外販路開拓の様々な取組を通じて、地域の魅力を海外へアプローチする手法や知見、海外から求められる日本の魅力について語っていただきます。

外国人クリエイターから広島の魅力を海外に向けて発信される取り組みを通じた知見や、食を起点とした地域価値共創のための仕組みの研究を通じて、他地域への転用や更に地域を発展させるための要点について議論を膨らませさせていただきます。

ゴール

日本の地域に眠る魅力ある資源の掘り起こしや、新しい価値をどのように創出していくことができるかという仕組みの共有を通じて、新しい価値を地域が主体となって生み出す可能性を探り、令和5年度の施策提言に繋げることを目標とします。

想定
視聴者

・地域の魅力発信を通じて、事業を発展を企画されている関連事業者、機関
・地域の食文化、地域の強みを活かしたブランディングの検討をされている関連事業者、機関

(1)CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③第2回CJPFライブ -2、登壇者

進行



モデレーター: 渡邊賢一氏



インタビューワー: 楠本 修二郎氏

ゲスト

- ・日本の食・食文化を、地域の食材・素材を用いて製品を作り出されている方々
- ・日本の食・食文化を海外に発信されてこられた方々
- ・日本の食・食文化を仕組み化の研究によって価値貢献されておられる方々

1部



今田酒造本店 4代目蔵元・杜氏 今田 美穂氏

日本酒「富久長」は、瀬戸内海に面した安芸津町にある今田酒造本店(広島県東広島市)の4代目蔵元で杜氏
広島の在来種の八反草を用いた日本酒『富久長』を醸されている。
世界に影響を与えた女性を選ぶBBC毎年恒例の企画で日本人からはただ一人「創造性(Creativity)」にて選出されている。



瀬戸内醸造所代表 太田祐也氏

令和元年に瀬戸内醸造所を三原市に設立。かつて造船所があった場所に立地し、ワイナリーに併設するレストランでは、瀬戸内海を眺めながら地元の食材を使った料理とワインを味わえる施設、耕作放棄地をブドウ畑に活用と、サステナブルな食のあり方を追求されている。



Get Hiroshima 編集長 ポール ウォルシュ

イギリスから、JET(語学指導等を行う外国青年招致事業)で来日。
仕事先の広島でいち早く英語でのウェブ発信に乗り出し、広島経済大学講師を務めながら、「広島の魅力」を海外に向けて伝えてきた。外国人向けの広島の観光情報発信メディア「GetHiroshima(ゲット・ヒロシマ)」の編集長を務める。

2部



株式会社TSSプロダクション 白神 道空氏

広島のテレビ番組のプロデューサーとして数々の賞を受賞。2009年 フランスで放送するレギュラー番組を立ち上げ、プロモーションとフランスで販路開拓を一元化したプラットフォームを構築。内閣府「地域活性化伝道師」に任命されている。世界的なコロナ感染拡大した2019年から約4年で225商品(食加工品)の海外販路開拓を支援し、数々の販路開拓に成功されている。



立命館大学食マネジメント学部准教授 野中 朋美氏

慶應義塾大学環境情報学部卒業後、神戸大学大学院システム情報学研究科特命助教を経て、現在、食サービスを対象に持続可能なサービスシステムデザイン研究に取り組まれている。



映像プロデューサー アレックス・ピロット氏 (フランス)

フランスのテレビ番組テレビ チャンネル Nolife の共同創設者でありプロデューサー。日本に関心を持ち、日本とテクノロジーに焦点を当てたドキュメンタリーやその他の番組を制作されている。

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③第2回CJPFライブ -3、構成台本、本番投影資料

◆ 構成台本を準備し、構成を事前に確認した上で、本番に臨むことでスムーズなライブ運営を実施。

構成台本

第2回 CJPFライブ進行要領/プロローグ 構成案

進行プログラム	立ち位置	話者	進行要領
オープニング		ナビゲーター渡邊賢一さん・インタビュワー橋本修二郎さん	CJPFライブ2回目開催、広島からのご挨拶
13:00-13:20		渡邊さん	「お時間になりましたので、2022年第2回目となるCJPFライブを開催させていただきます。」 「初めまして、私は本日ナビゲーターを務めます。クールジャパン官民連携プラットフォームディレクターの渡邊賢一と申します。」 「内閣府所管のクールジャパン戦略の一環として取組んでいる、クールジャパン官民連携プラットフォームでは昨年より、「食・食文化」を重点に、日本各地の魅力を発信する活動に取り組んでいます。「食・食文化」は、日本の地域の多様な自然・風土に根ざして、生産者、調理人、作法等の文化、流通、テクノロジーなど多様な接点を持っています。今年から開催している「CJPFライブ」では、日本の食・食文化の可能性をメインテーマとし、クールジャパンの最前線で活躍する方にご参加いただき、視聴者の皆様からの意見も含めた双方向型のコミュニケーションを行うことで、新たなマッチングを構築することを目的としています。
	※今田様、太田様、ホール様に着席いただくがカメラはナビゲーター・インタビュワー	橋本さん	第2回は、「広島」の会場から開催し、第1部と第2部の2部構成で進めてまいります。そして本日、エグゼクティブパネリストとして、カブエ・カンパニー 代表取締役社長 橋本 修二郎さんにお越しを頂いております。橋本さんはクールジャパンプロデューサーでもいらっしゃいます。橋本さん、今日はよろしくお願ひします。一言ご挨拶をいただけますでしょうか。
		渡邊さん	橋本様 ご挨拶・今日のご期待のメッセージ 橋本さんありがとうございます。広島でのCJライブ楽しみですね。広島は、2023年の主要7カ国首脳会議(G7サミット)の開催地として、注目が集まっていますね。
		渡邊さん・橋本さん	また、広島県の産物知事が「元気・美味しい・暮らしやすい」というビジョンを掲げ、新たな広島の魅力発信に力を入れておられるとのこと、本日はなんと、知事の産物さんからもビデオメッセージを頂戴しているとのこと。ありがとうございます。 産物知事からのビデオメッセージ 産物知事のビデオメッセージへの感想 広島といえば、お好み焼、牡蠣、もみじ饅頭などのソウルフードのイメージが強いですが、実は、多彩な気候と産物を持ち、北の「山地」から「瀬原地帯」を越えて「低地帯」へと、階段状の地形を持つ地形から、新たな多彩な食材の宝庫が生まれているんです。今日はとても楽しみです。視聴者の皆様のご参考になるようなアイデアや、気づきを提供する場にできればと考えております。 皆様、最後まで、ご覧いただけると幸いです。

本番投影資料

CJPF LIVE

名前 太田 祐也

出身 広島県三原市

日本歴 38年

これまでの食・食文化の仕事

- 25歳で地方創生の会社を起業。各地の地域ブランド、観光戦略などを作る中で地域の色の多様性に触れる。
- 瀬戸内醸造所を立ち上げ、瀬戸内の新しい食体験を提供している。

「地域色の多様性を守るために、一次産業に関わる人たちが次の世代に生業を継承できる仕組みづくりをしています。」

「自身考えるこれからの食・食文化の価値・テーマ」

Producing area

Wine grapes producing area
三原市高坂町

高収開花性の未熟が特徴の「黒い宝石」

広島県三原市の北西部。赤くは開花園として入植した農家達。

気候は、日照時間が長く、寒風がある。地質は、中粒岩地質。赤くは開花園が盛りに存在し、ミネラル分が多い水が流れている。

農家は、給水や市販には出せず、自ら醸造をつけ、贈答を行なっている。醸造設備を揃えていることから、農業関係者も少なく、切磋琢磨が行われている。

主食用ブドウとして1キロ2,000を超えて贈答用として取引をされる。

ブドウの品質は高く、「醸造用ブドウ」としてのブランド価値は大変高い。

主力ブドウ：ベリー系

© SETOUCHI-02010 All Rights Reserved. CDNF082114L

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③第2回CJPFライブ ー4、振り返りサマリ

◆ 課題点をあげ、次回以降のCJPFライブで対応すべき内容を振り返りサマリとして集約。

	振り返り	要因
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> 広島県知事のメッセージから登壇者のコメントに至るまで、企画コンセプトに沿った一貫通貫したメッセージを伝えることができた CJPFライブで伝えたい内容を、登壇者にお話しいただくことができた 	<ul style="list-style-type: none"> 事前MTGや事前のメールのやりとり、取材時のご訪問で、誰が何を話すかの事前共有と共に、その方に何を話してもらいたいかを個別で丁寧に登壇者に伝えた 構成台本の粒度を細かく作成し、登壇者に事前インプットを行った
	<ul style="list-style-type: none"> 第1回CJPFライブでは、登壇者が作成したスライド通りに話せないこともあったが、第2回CJPFライブでは、登壇者が作成したスライドと話す内容を合わせることができた 	<ul style="list-style-type: none"> 収録時のパソコン操作スタッフが、登壇者が話すこと、全体の流れを理解した上で、スライドを操作することができた(登壇者は作成したスライドの順番通りに話さないことがあるが、登壇者の話の通りにスライドを表示させることができた)
	<ul style="list-style-type: none"> CJPFらしさの表現 登壇者の取組みをわかりやすく伝える工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ロールパネルの作成 フリップの活用、登壇者の取組みがわかるもの(お酒・刊行誌)をご持参いただいた
	振り返り	今後の対応策
改善点	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介、ご自身の取組みの発表が間延びしてしまった 	<ul style="list-style-type: none"> 「自己紹介」、「ご自身の取組み」を、2週に分けて話す
	<ul style="list-style-type: none"> 登壇者が交通機関の影響で集合時間に遅れ、リハーサル時間が短くなってしまった 	<ul style="list-style-type: none"> 集合時間を1時間半前に早める

(1) CJPFにおける各種イベントの企画・運営・評価に関する調査

③第2回CJPFライブ -4、振り返りサマリ

◆ 登壇者の取組みをわかりやすく伝えられるよう、製品、フリップ、動画等を積極的に活用。



集合写真



ゲスト

会場雰囲気

